

令和6年公益法人会計基準の新しいメニューと各マスタについて

ver.2603

■ 新しいメニュー

日次月次	
▶ 合計残高試算表	事業挿入機能、変換区分を利用でき、令和6年基準の活動計算書様式で金額を確認できます。 ※令和6年基準に対応した新しい合計残高試算表メニューです。

R6 予算書	
▶ 収支予算書	活動計算書科目で表記します。 収支計算書科目での出力は、従来の【新新決算書】収支計算書(資金ベース)をご利用ください。
▶ 収支予算書内訳表	活動計算書科目で表記します。 収支計算書科目での出力は、従来の【新新決算書】収支計算書内訳表(資金ベース)をご利用ください。

R6 決算書	
▶ 収支計算書	活動計算書科目で表記します。
▶ 活動計算書 (内訳表)	収支計算書科目は、従来の【新新決算書】収支計算書(資金ベース)をご利用ください。 ※令和6年基準に基づく決算書ではありませんが、確認資料としてご活用ください。
▶ 活動計算書	活動計算書の科目を組み替えず事業挿入機能をご利用のお客様は、「事業挿入」項目を選択し出力してください。
▶ 貸借対照表	令和6年基準に対応した貸借対照表を出力します。
▶ 財産目録	令和6年基準に対応した財産目録を出力します。
▶ 貸借対照表の注記	WEB バランスマンでは、以下項目の金額を集計し印刷出力できます。 会計区分別内訳 / 有形固定資産および無形固定資産の内訳と増減額及び残高 引当金の内訳と増減額及び残高 / 指定純資産の内訳と増減額及び残高 / 純資産間の振替額 ※上記以外の項目は、Excel 形式で一括出力できます。ただし金額や名称等は空欄となりますので、お客様にて編集をお願いします。
▶ 活動計算書の注記	WEB バランスマンでは、すべての項目を出力できます。 財源区分別内訳 / 会計区分及び事業区分別内訳 / 事業費・管理費の形態別区分

※「貸借対照表の注記」「活動計算書の注記」の各メニューは、項目によって表示名や科目の設定が必要です。
出力前にお客様ご自身で設定を行ってください。

分析	
▶ 月次推移表 (R6年基準)	活動計算書、令和6年基準に対応した貸借対照表の科目で表記します。
▶ 年次推移表 (R6年基準)	

■ 新・旧の予算書・決算書

資金ベースのメニューは、平成20年、令和6年基準「共通」でご利用いただけます。

令和6年基準の適用年度も、資金ベースは【新新予算書(予算書)】【新新決算書(決算書)】の各メニューをご利用ください。

損益ベースのメニューは、平成20年、令和6年基準で、それぞれ異なります。

▶【新新予算書(予算書)】【新新決算書(決算書)】の(損益ベース)メニューは、平成20年基準に対応しています。

※令和6年基準には対応していません。

▶【R6 予算書】【R6 決算書】のメニューは、令和6年基準に対応しています。

※平成20年基準には対応していません。

▼ H20：平成20年基準／R6：令和6年基準

○：該当する会計基準で利用できます。

×：該当する会計基準で利用できません。

	H20	R6	
(資金ベース)	○	○	収支計算書の科目で表記します。 平成20年、令和6年基準「共通」でご利用ください。
(損益ベース)	○	×	正味財産増減計算書の科目で表記します。 平成20年基準用のメニューです。 令和6年基準の適用年度は、正しい科目表記とならないため、ご利用いただけません。

※収支計算書の科目を登録していないお客様は、資金ベースのメニューは表示していません。

▶ 予算書

タブ名	メニュー名	H20	R6	説明
新新予算書 (予算書)	▶ 収支予算書 (資金ベース)	○	○	令和6年基準の適用年度も、資金ベースはこちらのメニューをご利用ください。
	▶ 収支予算書内訳表 (資金ベース)	○	○	
	▶ 収支予算書 (損益ベース)	○	×	正味財産増減計算書科目で表記します。 令和6年基準の適用年度は利用できません。
	▶ 収支予算書内訳表 (損益ベース)	○	×	
R6 予算書	▶ 収支予算書	×	○	活動計算書科目で表記します。 令和6年基準の適用開始年度に限り、前期列は正しく表記できません。
	▶ 収支予算書内訳表	×	○	前期列「すべて空欄にする」「すべて0にする」で出力してください。

▶ 決算書

タブ名	メニュー名	H20	R6	説明
新新決算書 (決算書)	▶ 収支計算書内訳表 (資金ベース)	○	○	令和6年基準の適用年度も、資金ベースはこちらのメニューをご利用ください。
	▶ 収支計算書 (資金ベース)	○	○	
	▶ 収支計算書 (損益ベース)	○	×	正味財産増減計算書科目で表記します。 令和6年基準の適用年度は利用できません。
	▶ 正味財産増減計算書	○	×	
	▶ 正味財産増減計算書内訳表	○	×	
	▶ 貸借対照表	○	×	平成20年基準の科目(基本財産・特定資産、正味財産など)で表記します。 令和6年基準の適用年度では利用できません。
	▶ 貸借対照表内訳表	○	×	
	▶ 消費税計算書	○	○	令和6年基準の適用年度もご利用いただけます。 ただし、活動計算書の様式(公1事業収益などの活動名表記)では出力できません。
	▶ 財産目録	○	×	平成20年基準の科目(正味財産など)で表記します。 令和6年基準の適用年度は利用できません。
	▶ 財務諸表に対する注記	○	×	平成20年基準に対応したメニューです。 令和6年基準の適用年度は利用できません。
▶ 附属明細書	○	×		
R6 決算書	▶ 収支計算書	×	○	活動計算書科目で表記します。 運用開始年度に限り、前期列は正しく表記できません。 前期列「すべて空欄にする」「すべて0にする」で出力してください。
	▶ 活動計算書(内訳表)	×	○	
	▶ 活動計算書	×	○	平成20年基準の年度は利用できません。
	▶ 貸借対照表	×	○	令和6年公益法人会計基準の科目(有形・無形固定資産、純資産など)で表記します。 平成20年基準の年度は利用できません。
	▶ 財産目録	×	○	令和6年基準の適用開始年度に限り、前期列は正しく表記できません。
	▶ 貸借対照表の注記	×	○	前期列「すべて空欄にする」「すべて0にする」で出力してください。
	▶ 活動計算書の注記	×	○	平成20年基準の年度は利用できません。

▶ 月次・年次推移表

タブ名	メニュー名	H20	R6	説明
分析	▶ 年次推移表	○	×	平成20年基準の科目(基本財産・特定資産、正味財産など)、正味財産増減計算書科目で表記します。令和6年基準の適用年度は利用できません。
	▶ 月次推移表	○	×	令和6年基準の適用年度も、収支計算書の科目で出力する際はこちらのメニューをご利用ください。
	▶ 年次推移表 (R6年基準)	×	○	令和6年公益法人会計基準の科目(有形・無形固定資産、純資産など)、活動計算書科目で表記します。
	▶ 月次推移表 (R6年基準)	×	○	平成20年基準の年度は利用できません。

【年次推移表(R6年基準)のご注意事項】

☑ 表示範囲の年度において、平成20年基準と令和6年基準の適用が混在している場合、年次推移表では科目が混在して表示されます。

年次推移表(R6年基準)では、[表示範囲:3年/5年]を選択することで、年度ごとに列を表示して出力します。

表示範囲の年度において、平成20年基準と令和6年基準の適用年度が混在している場合は、科目も混在して表示されます。

これは、平成20年基準と令和6年基準で、科目種別や科目構成を変更しているためです。必要に応じ、CSVファイルを出力し編集してください。

例: 令和8年度(R6年基準適用開始)を選択し出力した場合

令和6年度…H20年基準 / 令和7年度…H20年基準 / 令和8年度…R6年基準

▼帳票区分:貸借対照表

年次推移表		令和8年度	令和7年度	令和6年度
会 計: 全会計対象 1/3 (単位: 円)				
1. 資産の部	基本財産			
1. 流動資産	特定資産			
005 現金預金	H20年会計基準の科目			
010 未収金	その他の固定資産			
015 前払金	(1)有形固定資産			
020 前払費用	有形固定資産合計			
025 支払金	(2)無形固定資産			
030 貸倒引当金	無形固定資産合計			
091 会計期間定	(3)その他固定資産			
流動資産合計	その他固定資産合計			
2. 固定資産	固定資産合計			
基本財産				
特定資産				
その他の固定資産				
(1)有形固定資産				
有形固定資産合計				
(2)無形固定資産				
無形固定資産合計				
(3)その他固定資産				
その他固定資産合計				
固定資産合計				
III 純資産の部				
1. 指定正味財産				
1. 指定純資産				
1. 指定正味財産				
005 補助金				
010 寄付金				
2. 一般正味財産				
2. 一般純資産				
001 一般正味財産				
3. その他有価証券評価差額金				
(うち指定純資産に係る評価差額金)				
(うち一般純資産に係る評価差額金)				

▼帳票区分:活動計算書

年次推移表		令和8年度	令和7年度	令和6年度
会 計: 全会計対象 1/5 (単位: 円)				
1. 経常活動区分	I 経常活動区分			
(1)経常収益	(1)経常収益			
005 基本財産運用益	R6年会計基準の科目種別			
005 資産運用益	005 基本財産運用益			
005 受取利息	R6年会計基準の科目			
005 基本財産受取利息	005 資産運用益			
010 受取配当金	005 受取利息			
010 基本財産受取配当金	005 基本財産受取利息			
095 基本財産運用益振替額	010 受取配当金			
007 特定資産運用益	010 基本財産受取配当金			
005 特定資産受取利息	095 基本財産運用益振替額			
005 特定資産受取利息	007 特定資産運用益			
010 受取配当金	005 特定資産受取利息			
010 基本財産受取配当金	010 特定資産受取配当金			
095 特定資産運用益振替額	095 特定資産運用益振替額			
007 特定資産運用益	010 受取会費			
005 特定資産受取利息	H20年会計基準の科目			
010 特定資産受取配当金				
095 特定資産運用益振替額				
010 受取会費				
005 正会員受取会費				
010 特別会員受取会費				
015 賛助会員受取会費				
015 事業収益				
005 事業収益				

■ 設定対象マスタ

各マスタメニューにてご確認ください。弊社でマスタ設定した場合の対象マスタです。

マスタ	
指定区分マスタ	「指定区分名」の確認、「交付者」項目は、お客様にてご入力ください。 ※ 操作マニュアルはこちら
科目マスタ	科目種別や、勘定科目をご確認ください。
事業区分マスタ※ ¹	事業区分を組み替えた場合は、ご確認ください。
決算変換設定マスタ※ ¹	決算変換設定マスタを追加した場合は、ご確認ください。
R6 決算書科目設定マスタ	内部設定のためお客様のメニュー画面からご確認くださいませ。

※¹ 設定の追加、変更は任意となり必須ではありません。

※事業挿入機能は、内部設定のためお客様のメニュー画面からご確認くださいませ。

以下に該当するお客様はご確認ください。また、必要に応じて設定のご変更や追加をお願いします。

収入支出何書入力「按分入力」、一括按分振替伝票メニューをご利用のお客様	
按分マスタ	按分先の会計、事業、按分率等を設定するマスタです。 指定純資産に関する按分を設定する場合は「指定区分」を選択のうえご登録ください。
一括按分マスタ	一括按分振替伝票を起票するための、按分元の情報設定と一括按分の種類を設定するマスタです。 指定純資産に関する按分を設定する場合は「指定区分」を選択のうえご登録ください。

活動計算書科目の組み替えに伴う再設定メニュー	
按分マスタ	収入支出何書入力「按分入力」、または一括按分振替伝票をご利用のお客様はご確認ください。
一括按分マスタ	一括按分振替伝票をご利用のお客様はご確認ください。
WEB バランスマン謝金	連動し伝票作成しているお客様は、プロダクト「謝金」クラスマスタにてご確認ください。
WEB バランスマン固定資産	連動し伝票作成しているお客様は、プロダクト「固定資産」会計連動マスタにてご確認ください。
外部システム連動マスタ	弊社謝金システム(オンプレミス)と連動しているお客様は、外部システム連動マスタをご確認ください。
外部システム連動マスタ	他者製品と連動しているお客様は、外部システム連動マスタをご確認ください。